

Close up

だて



—奉仕活動の輪を  
広げたい—

伊達ライオンズクラブ会長  
早坂文雄さん



「中古眼鏡リサイクル回収」活動は今後も取り組みます

**困**

っている人がいる。そんな時、少しでも力になりたいと思っています」と話してくださいるのは、伊達ライオンズクラブ会長の早坂文雄さんです。

「ライオンズクラブ」という名前を一度でも聞いたことがある方は多いのではないのでしょうか。

約100年前にアメリカのシカゴで始まったこの団体は、世界最大の国際的社会奉仕団体で、伊達ライオンズクラブはその支部組織として会員48名で活動しています。

当クラブでは献血などの奉仕事業や、弁論大会の実施などの青少年育成事業に取り組み傍ら、今年、あるものを寄附する事業を始めました。

それが「中古眼鏡リサイクル回収」活動です。

視力の悪い人でしたら、一度はかけたことのある眼鏡ですが、発展途上国では眼鏡や視力検査費用は非常に高額で、視力低下に悩む

多くの人が眼鏡を必要としています。

しかし、身の回りにある中古や壊れた眼鏡は集めて新しい眼鏡にリサイクルできることに着目したライオンズクラブでは市内に「回収BOX」と表示した回収箱を置き、約2ヵ月間で56個の眼鏡を回収しました。

「身の回りにある不要なものでも助かる人がいることが嬉しいですね。多くの方が協力してくれて感謝しています」と早坂さん。

一人だけではできないことが、二人、三人と協力してくれる人が増えることで、より奉仕の範囲を広げることができると早坂さんはより多くの仲間たちとの活動を目指しています。

最後に早坂さんから一言。  
「奉仕を愛する仲間が集まって活動を行っています。その日その日にできるボランティアを一緒にやってみませんか」

伊達ライオンズクラブ  
会員募集

一緒に活動してみませんか。  
ぜひお問い合わせください。

問 伊達ライオンズクラブ事務局  
(☎23-0512)

だて

発行・編集 伊達市企画財政部企画課  
☎ 0142-23-3331 内線238・239  
FAX 0142-23-4414  
✉ kouhou@city.date.hokkaido.jp  
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

楽  
画  
記

■寝ても覚めてもホームページの日々…「広報だて」の編集もほとんどに休日返上で更新作業に没頭！丸1日完全休養できた日はここ1、2ヵ月あっただろうか？20代は午前4時までの勤務でもピクともしななかったのに、今まさに体力が急降下するらしい「曲がり角」の40代。ジワジワと年齢の「壁」を意識せずにはいられない(じ)

■今年もカルチャーセンターで行われた雪まつりの取材へ。前回の成人式に続き、3年連続の取材となるも、悪天候に見舞われた昨年から一転。今年は晴天の下での写真撮影でホッと一息。けれども、取材終了後、何故か昨年より疲れる感じの自分。今年の寒さのせい？それとも一昨年を取った身体の限界？(よ)

■インフルエンザが猛威をふるっている今年。一人二人と、次々に蔓延化していることに驚きました！周りでは皆マスクをする人も多く、日々の予防は欠かせません。予防接種の効果は三月らしく、とうにその三月を過ぎていた私は、と考えると恐ろしいです。皆さんもしっかりと予防をして、この冬を乗り切りましょう！(ゆ)

として保存しましょう